

薬効・薬価リスト平成23年版 追補
(平成23年11月25日告示分)

内 用 薬

イムセラカプセル 0.5mg 0.5mg1 剤 劇 8,172.00
(田辺三菱) 3999029M1029 / 622105101

3999i 多発性硬化症治療剤 フィンゴリモド塩酸塩
適応 多発性硬化症の再発予防・身体的障害の進行抑制。
用法 1日1回0.5mg,経口投与。
禁忌 本剤(成分)に過敏症の既往歴 重篤な感染症 クラスIa (キニジン硫酸塩水和物,プロカインアミド等)・クラスIII (アミオダロン塩酸塩,ソタロール等) 抗不整脈剤を投与中 妊婦・妊娠している可能性の婦人 **併禁** 生ワクチン(乾燥弱毒生麻しんワクチン,乾燥弱毒生風しんワクチン,経口生ポリオワクチン,乾燥BCG等) クラスIa 抗不整脈剤(キニジン硫酸塩水和物 硫酸キニジン,プロカインアミド アミサリン 等),クラスIII 抗不整脈剤(アミオダロン塩酸塩 アンカロン,ソタロール ソタコール 等)
(薬価基準収載日:平23.11.25,投与:14日まで)

ジレニアカプセル 0.5mg 0.5mg1 剤 劇 8,172.00
(ノバルティス) 3999029M1037 / 622123601

3999i 多発性硬化症治療剤 フィンゴリモド塩酸塩
適応 多発性硬化症の再発予防・身体的障害の進行抑制。
用法 1日1回0.5mg,経口投与。
禁忌 本剤(成分)に過敏症の既往歴 重篤な感染症 クラスIa (キニジン硫酸塩水和物,プロカインアミド等)・クラスIII (アミオダロン塩酸塩,ソタロール等) 抗不整脈剤を投与中 妊婦・妊娠している可能性の婦人 **併禁** 生ワクチン(乾燥弱毒生麻しんワクチン,乾燥弱毒生風しんワクチン,経口生ポリオワクチン,乾燥BCG等) クラスIa 抗不整脈剤(キニジン硫酸塩水和物 硫酸キニジン,プロカインアミド アミサリン 等),クラスIII 抗不整脈剤(アミオダロン塩酸塩 アンカロン,ソタロール ソタコール 等)
(薬価基準収載日:平23.11.25,投与:14日まで)

テラビック錠 250mg 250mg1 錠 劇 1,422.10
(田辺三菱) 6250035F1020 / 622105001

6250i 抗ウイルス剤 テラプレビル
適応 セログループ1(ジェノタイプI(1a)又はII(1b))のC型慢性肝炎における次のいずれかのウイルス血症の改善/血中HCV RNA 量が高値の未治療患者,インターフェロン製剤単独療法又はリバビリンとの併用療法で無効又は再燃した患者。

注)使用に際しHCV RNAが陽性であることを確認。血中HCV RNA 量が高値の未治療患者に使用する場合,RT-PCR法で5.0LogIU/mL以上に相当することを確認。

用法 ベグインターフェロナルファ-2b(遺伝子組換え)及びリバビリンと併用。1回750mg,1日3回食後経口投与。投与期間は12週間。

注)投与中に臨床検査値の減少が認められた場合には次を参考に用量変更/Hb濃度が8.5g/dL未満の場合は中止,白血球数1,000/mm³未満・好中球数500/mm³未満・血小板数50,000/mm³未満の場合は中止。

禁忌 本剤(成分)に過敏症の既往歴 本剤の服用により重篤な皮膚障害が発現したことがある者 コントロールの困難な心疾患(心筋梗塞,心不全,不整脈等)のある者 異常ヘモグロビン症(サラセミア,鎌状赤血球性貧血等) 次の薬剤を使用中:1)抗不整脈薬のうち次の薬剤:キニジン硫酸塩水和物,ベプリジル塩酸塩水和物,フレカイニド酢酸塩,プロパフェノン塩酸塩,アミオダロン塩酸塩2)麦角アルカロイド:エルゴタミン酒石酸塩,ジヒドロエルゴタミンメシル酸塩,エルゴメトリンマレイン酸塩,メチルエルゴメトリンマレイン酸塩3)HMG-CoA還元酵素阻害剤のうち次の薬剤:ロバスタチン,シンバスタチン,アトルバスタチンカルシウム水和物4)PDE5阻害剤のうち次の薬剤:バルデナフィル塩酸塩水和物,シルденаフィルクエン酸塩(肺高血圧症を適応とする場合),タダラフィル(肺高血圧症を適応とする場合)5)その他:ピモジド,トリアゾラム,アルフゾシン,プロナンセリン,コルヒチン(肝臓・腎臓に障害のある者に使用する場合),リファンピシン **併禁** キニジン硫酸塩水和物 硫酸キニジン,ベプリジル塩酸塩水和物 ベプリコール,フレカイニド酢酸塩 タンボコール,プロパフェノン塩酸塩 プロノン等,アミオダロン塩酸塩 アンカロン,ピモジド オーラップ エルゴタミン酒石酸塩 クリアミン,ジヒドロエルゴタミンメシル酸塩 ジヒデルゴット等,エルゴメトリンマレイン酸塩 エルゴメトリンマレイン酸塩,メチルエルゴメトリンマレイン酸塩 メテルギン等 トリアゾラム ハルシオン等 ロバスタチン,シンバスタチン リポバス等,アトルバスタチンカルシウム水和物 リビトール,カデュエット アルフゾシン,バルデナフィル塩酸塩水和物 レビトラ,シルденаフィルクエン酸塩(肺高血圧症を適応とする場合) レパチオ,タダラフィル(肺高血圧症を適応とする場合) アドシルカ プロナンセリン ロナセン コルヒチン(肝臓・腎臓に障害のある者に使用する場合) コルヒチン リファンピシン アプテシン,リファジン,リマクタン等

(薬価基準収載日:平23.11.25,投与:14日まで)

(次頁に続く)

薬効・薬価リスト平成23年版 追補
(平成23年11月25日告示分)

外用薬

タコシール	3.0cm×2.5cm1枚	11,296.90
組織接着用シート (CSLベ어링)	7990713X1024 / 622133401	
"	4.8cm×4.8cm1枚	31,936.50
組織接着用シート	7990713X2020 / 622133501	
"	9.5cm×4.8cm1枚	60,091.80
組織接着用シート	7990713X3027 / 622133601	

7990J 生物学的組織接着・閉鎖剤

適応 肝臓外科,肺外科,心臓血管外科,産婦人科及び泌尿器外科領域における手術時の組織の接着・閉鎖(縫合あるいは接合した組織から血液,体液又は体内ガスの漏出をきたし,他に適切な処置法のない場合に限る) [承認時資料による]

用法 接着・閉鎖部位の血液,体液をできるだけ取り除き,本剤を適切な大きさにし,乾燥状態のままあるいは生理食塩液でわずかに濡らし,その活性成分固着面を接着・閉鎖部位に貼付し,3~5分間圧迫。

保険 単なる止血を目的としての使用不可(平23.11.25 保医発1125第2号)

禁忌 本剤(成分)・ウマ血液を原料とする製剤(乾燥まむしウマ抗毒素等)に過敏症の既往歴 次の製剤による治療を受けている者:凝固促進剤(臓器抽出製剤,蛇毒製剤),抗線溶剤 **併禁** 凝固促進剤(臓器抽出製剤,蛇毒製剤:トロンピン,フィブリノゲン フィブリノゲンHT静注用1g「ヘネシス」,ヘモコアグラゼ レプチラーゼ注1単位,2単位等 抗線溶剤(トランキサム酸 トランサミン注5%,10%等),アプロチニン製剤
(薬価基準収載日:平23.11.25,投与:14日まで)

ムコスタ点眼液 UD2%	2%0.35mL1本	27.10
(大塚製薬)	1319760Q1029 / 622104901	

1319i ドライアイ治療剤 レバミビド

適応 ドライアイ。 [承認時資料による]

用法 1回1滴,1日4回点眼。

禁忌 本剤(成分)に過敏症の既往歴

(薬価基準収載日:平23.11.25,投与:14日まで)

注射薬

イラリス皮下注用150mg	150mg1瓶 劇	1,435,880
(ノバルティス)	3999434D1022 / 622123701	

3999i ヒト型抗ヒト IL-1 モノクローナル抗体 カナキマブ

適応 次のクリオピリン関連周期性症候群/家族性寒冷自己炎症症候群,マックル・ウェルズ症候群,新生児期発症多臓器系炎症性疾患。

用法 体重40kg以下の者1回2mg/kg,40kgを超える者1回150mg,8週ごとに皮下注。十分な臨床的効果(皮疹・炎症症状の寛解)がみられない場合,適宜漸増。1回最高量,体重40kg以下の者1回8mg/kg,40kgを超える者1回600mg。最高量まで増量し,8週以内に再燃がみられた場合,投与間隔を4週間まで短縮可。症状により1回量の増減を検討。

注)1瓶を生理食塩液1mLに溶解した場合,溶液1mLが投与量150mgに相当。

禁忌 重篤な感染症 活動性結核 本剤(成分)に過敏症の既往歴

テリボン皮下注用56.5µg	56.5µg1瓶	12,971
(旭化成ファーマ)	2439401D1028 / 622112301	

2439i 骨粗鬆症治療剤 テリパラチド酢酸塩

適応 骨折の危険性の高い骨粗鬆症。

用法 1回56.5µg,1週間に1回,皮下注。投与は72週間まで。1瓶を生理食塩液1mLに用時溶解して使用。

禁忌 次に掲げる骨肉腫発生のリスクが高いと考えられる者:1)骨ページェット病2)原因不明のアルカリフォスファターゼ高値を示す者3)小児等および若年者で骨端線が閉じていない者4)過去に骨への影響が考えられる放射線治療を受けた者 高カルシウム血症 原発性の悪性骨腫瘍,転移性骨腫瘍のある者 骨粗鬆症以外の代謝性骨疾患(副甲状腺機能亢進症等) 本剤(成分)・他のテリパラチド製剤に過敏症の既往歴 妊婦・妊娠している可能性の婦人

フェソロデックス	250mg5mL1筒 劇	50,313
筋注250mg(アストラゼネカ)	4291421G1020 / 622101401	

4291 抗エストロゲン剤/閉経後乳癌治療剤 フルベストラント

適応 閉経後乳癌。

注)使用開始にあたり原則としてホルモン受容体の発現の有無を確認。ホルモン受容体が陰性と判断された場合は本剤を使用しない。

用法 1回500mg(2筒),初回,2週後,4週後,その後4週ごとに1回,左右の臀部に1筒ずつ筋注。

禁忌 妊婦・妊娠している可能性の婦人 授乳婦 本剤(成分)に過敏症の既往歴

プロイメント点滴静注用150mg	150mg1瓶	14,919
(小野)	2391405D1020 / 622122801	

2391 選択的NK₁受容体拮抗型制吐剤 ホスアプレピタントメグルミン

適応 抗悪性腫瘍剤(シスプラチン等)投与に伴う消化器症状(悪心,嘔吐)(遅発期を含む)。

用法 他の制吐剤と併用。抗悪性腫瘍剤投与1日目に1回150mg,点滴静注。

注)原則としてコルチコステロイド,5-HT₃受容体拮抗型制吐剤と併用。1瓶を5mLの生理食塩液で溶解,最終容量100~250mLとなるよう希釈。

禁忌 本剤(成分)・アプレピタントに過敏症の既往歴 ビモジドを投与中 **併禁** ビモジド オーラップ錠1mg,3mg,細粒1%

(次頁に続く)

薬効・薬価リスト平成 23 年版 追補
(平成 23 年 11 月 25 日告示分)

ホストイン静注 750mg (ノーベル)	750mg10mL1 瓶 劇 6,299 1132401A1020 / 622093701
-------------------------	--

1132 抗けいれん剤 ホスフェニトインナトリウム

適応 てんかん重積状態。脳外科手術又は意識障害（頭部外傷等）時のてんかん発作の発現抑制。フェニトインを経口投与しているてんかん患者における一時的な代替療法。〔承認時資料による〕

用法 成人・2 歳以上の小児に次の用法・用量で投与。〔てんかん重積状態〕初回 22.5mg/kg, 静注。投与速度は 3mg/kg/分又は 150mg/分のいずれか低い方まで。維持 1 日 5～7.5mg/kg, 1 日 1 回又は分割静注。投与速度は 1mg/kg/分又は 75mg/分のいずれか低い方まで。〔てんかん発作の発現抑制〕初回 15～18mg/kg, 静注。投与速度は 1mg/kg/分又は 75mg/分のいずれか低い方まで。維持 1 日 5～7.5mg/kg, 1 日 1 回又は分割静注。投与速度は 1mg/kg/分又は 75mg/分のいずれか低い方まで。〔代替療法〕経口フェニトインの 1 日量の 1.5 倍量を, 1 日 1 回又は分割静注。投与速度は 1mg/kg/分又は 75mg/分のいずれか低い方まで。

注) 維持投与は初回投与から 12～24 時間あけて行う。

禁忌 本剤(成分)・ヒダントイン系化合物に過敏症の既往歴 洞性徐脈, 高度の刺激伝導障害 タダラフィル(アドシルカ)を投与中

併禁 タダラフィル アドシルカ